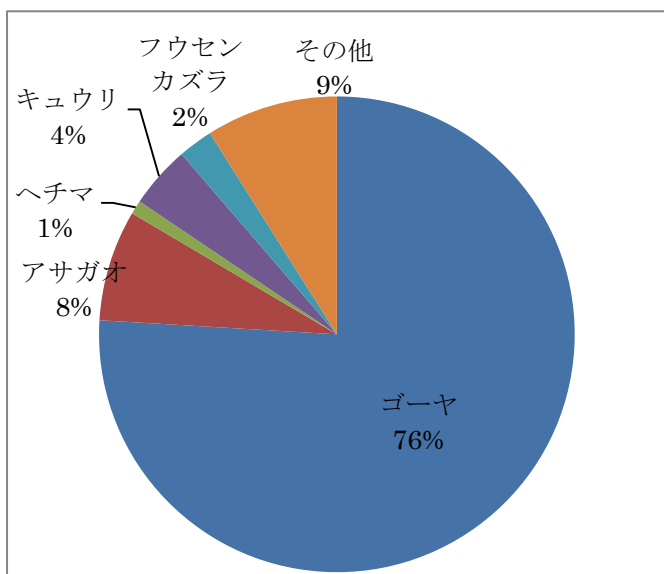


みんなで作った緑のカーテン



緑のカーテンを育てられた方に、観察記録の提出をお願いしたところ、242名の報告がありました。
その内容を、ご紹介します。

1. どんな植物を緑のカーテンに利用しましたか？

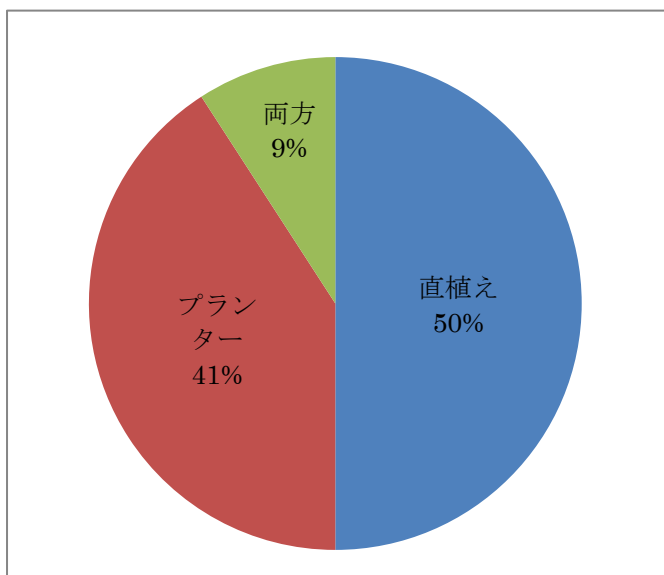


一口に「ゴーヤ」と言っても太く短いもの、細長いもの、白ゴーヤやアップルゴーヤ等、色々な品種が出てきました。ここではまとめて表示しています。また、「その他」の植物はパッションフルーツという回答が増えてきました。



〈パッションフルーツ〉

2. どこに植えましたか？

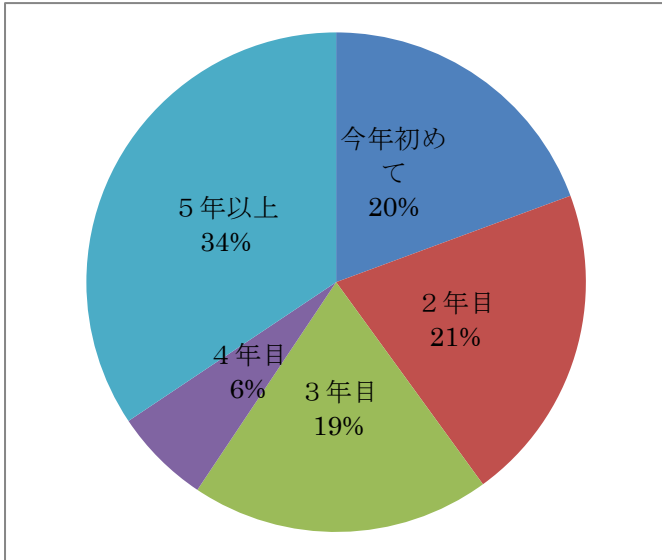


毎年、プランターと直植えの差はあまりないようです。

今年、連作障害についてお尋ねしましたが、直植えでもいろいろ工夫されているようでした。

詳細は「11. 連作障害対策」で。

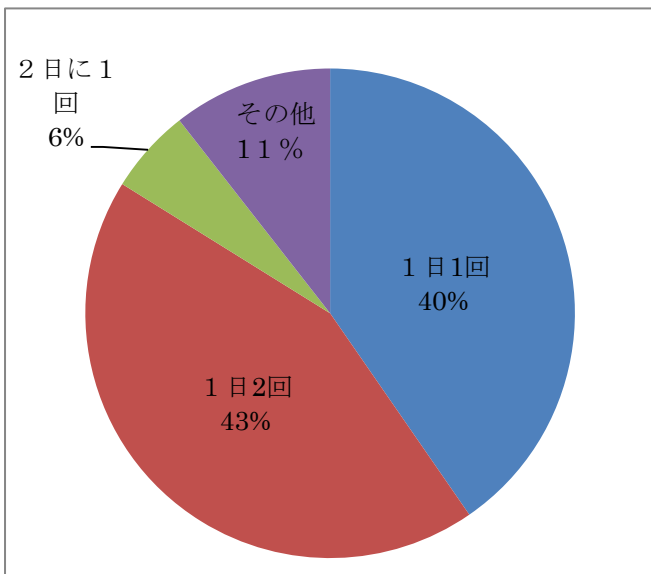
3. 緑のカーテンの取り組みはどのくらい？



緑のカーテンは一度育ててみると、その効果や楽しさに気づき、翌年も続けて育てていただけるようです。

もちろん水やりやツルの誘導など手もかかりますが、その分結果で答えてくれるのも、やりがいにつながるのかもしれないね。

4. 水やりについて



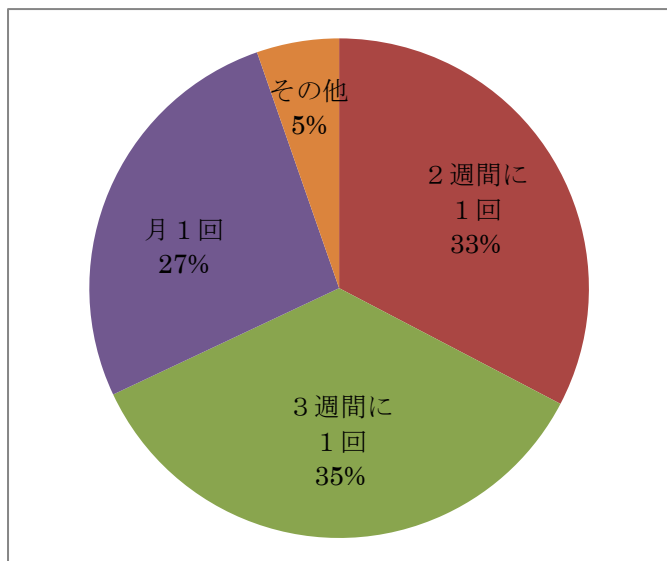
1日1回という方は直植えで、2回という方はプランターで育成されている方に多く見られました。しかし暑い夏場は3回という方もみられました。

反面、「水をやりすぎて、ダメにした。」という声がありました。

水やりは、天気と植物の状態をよく観察して行わないといけませんね。



5. 追肥の頻度は？



*「モデル地区」とは町会単位で温暖化対策全般に取り組んでいただく活動で、今年は6つの地区が参加されました。



追肥に利用した肥料は、モデル地区*を対象に配布した有機肥料を挙げた方が多くいらっしゃいました。

苗を植える前に十分に肥料をまいたので、必要なかったという意見もありますが、果実をつける植物で育成する緑のカーテンでは追肥があった方が良いでしょう。

「実を収穫するたびに追肥すると良い」という声もありました。

6. 緑のカーテンを作る上での工夫は？

単一の果実のなる植物、例えばゴーヤで緑のカーテンを育成すると「一度にたくさんの収穫」になるので、キュウリ等別の植物を植えて「収穫の時期をずらして長く楽しむ」工夫をした方がいらっしゃいました。果実のなる植物と朝

顔を植えて、花の色で変化をつけて楽しんでいる声も多数ありました。

リビング側はゴーヤ等で涼しく、和室の前はフウセンカズラ等で暗くなりすぎないようにと、ご自身の目的に合わせて育成された方もいらっしゃいます。





エアコン室外機をカーテン内に入れることで、冷房運転時、直射日光の影響がない室外機と、その周辺外気との熱交換の効率向上が図れて省エネになるという意見がありました。

棚状に作る事で、風の通り道ができて涼しく感じられ、

果実も収穫しやすかったということです。



また、ネットの固定の仕方について尋ねたところ、「物干し竿を利用する。」という意見が多数ありました。しかし、「洗濯物が干せなくなる可能性」があります。その他の意見では、ネットが風で揺れすぎないように、横におもり用の棒を設置した方もいらっしゃいました。



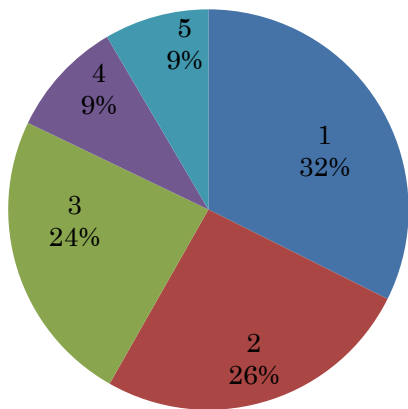
ネットの張り方と言えば、ツルがロープに誘導される特性を利用して「真ん中をアーチにして、通り歩きができるようにした。」方も複数いらっしゃいました。

もちろん設置については各住宅事情もある事でしょうが、皆さん色々とエ

夫して緑のカーテンを育成されていました。



7. 緑のカーテンの効果

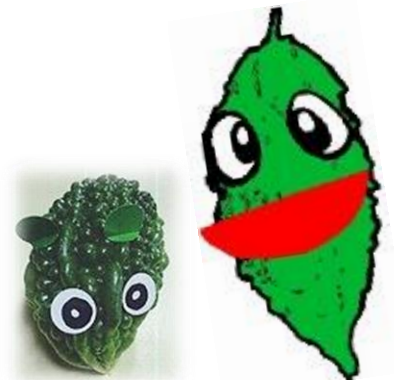


1. 「緑のカーテン」により、涼しくなった。または涼しく感じた。
2. 緑や花、葉の揺れる音、木漏れ日などに心が癒された。
3. 家族や近所の方とのコミュニケーションが増えた。
4. 冷房温度の設定を変更した。または冷房使用時間が減った。
5. 「緑のカーテン」以外の省エネ活動に関心を持つようになった。または実践した。

複数回答可でのアンケートで答えていただきました。みなさん「涼しい」または「涼しく感じた」ということで、日光を遮断し、視覚・聴覚・人によっては嗅覚も緑のカーテンで癒されたようです。

《その他の意見》

- ・家の外観が変わったように見えた。
- ・料理のレパートリーが増えた。
- ・通りから家の中が見えにくいので防犯や目隠し効果になる。
- ・ゴーヤ料理で体調が良い。
- ・毎日早起きしてゴーヤを見るのが楽しい。
- ・初めての試みだったが、町会の方に指導してもらい、緑のカーテンができたのでうれしかった。



8. 今年の感想から

<苦勞した点・課題>

水やり・肥料について

- ・ 化学肥料を移植後少量撒いたが、強すぎたのか苗が枯れた。
- ・ 肥料が足りなかったようで、あまり育たなかった。
- ・ 朝夕2回の水やりが大変だった。



害虫に

- ・ 苗の段階でダンゴ虫などにくわれた。
- ・ カメムシがついて、ゴーヤが曲がってしまった。



育成が

- ・ 種から育てたが、なかなか発芽しなかった。
- ・ 種を植えてもなかなか成長せず、やきもきした。
- ・ 摘芯とツルの誘導がうまくいかず、思ったように広がらなかった。
- ・ 7月下旬でも、また緑のカーテンになっていなかった。
- ・ やぶがらしに成長を阻害された。



その他

- ・ 網を張るのが大変だった。
- ・ 高いところのゴーヤを取るのに苦勞した。
- ・ せっかく種から発芽させたので苗を選びきれず、プランターに3本ずつ欲張ったことで実が小さく、つき方が少ない。



<よかった点>

カーテンについて

- ・朝顔の花が咲き高原にいるみたいで、暑い夏もまんざらではなかった。
- ・緑のカーテンが心身ともに癒してくれているのを実感した。



- ・窓を全開にしても外からは見えない。とても快適。
- ・緑のあざやかさ、黄色の花のかわいらしさ、毎日眺めては笑み癒された。

節電・環境について

- ・緑のカーテンは涼感抜群で(市販の遮光カーテンは風通しが悪く一長一短がある)ゴーヤの葉が熱風も吸収してくれるようだ。



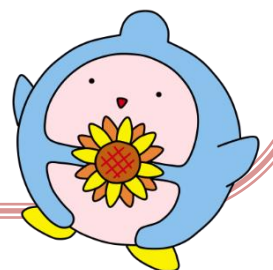
- ・非接触温度計でカーテンの表裏を測定すると明らかに3度違い、いわゆる蒸散作用が見られた。



- ・生い茂るゴーヤの葉が窓から差し込む夏の暑い西日を遮り、クール感でいっぱい。
- ・今年の夏は1度もエアコンを使用しなくて済んだ。

コミュニケーション

- ・知らない方からも声をかけられ、色々会話ができて楽しい。
- ・町会で緑のカーテンコンクールに参加したので、ゴーヤを育てる家が多く、町内の親睦に役立った。



その他

- ・毎日グングン伸びるので、とてもかわいい。
- ・しおれそうになると水をあげるとすぐ元気になる。
- ・西日対策で植え始めたが思った以上の緑のカーテンとなり、癒される。
- ・毎朝の水やりが楽しく、少しずつ大きくなってくれるのが大変うれしく思う。



9. どれくらいの大さの緑のカーテンができたの？

個人の部で、平均の幅は、2.7m、高さは3.5m。最大では幅12m、高さ19m。1件の平均は10.2m²（複数枚を含む）でした。

事業所・公共施設の部では、平均の幅は4.1m、高さは4.3m。複数個所に育てた方や、1枚で広いカーテン（個人の方で70m²、事業所・公共施設の部では245m²）の方もいました。

カーテンの大きさはそれぞれ必要性や設置の条件に応じたものだと思います。みなさんの緑のカーテンは役立ちましたか？



10. お気に入りのカーテンは？



緑のカーテンは、外から見ると「太陽の光を浴びて緑が濃」く「すごく繁っているので、すごいですね！」という状態ですが、「内は別世界！」「プライバシーも守られ」「癒しの空間を作ってくれ」ます。「クーラーがいらず、孫がよく昼寝してくれた」という



感想もありました。

他には、「窓枠ピッタリの大きさに育成した」という声もありました。



また、独自の観察日記を作成された方も。ご年配の方は「子供の頃を思い出しながら、楽しく作ることができました」とのこと。小学生はキュウリとゴーヤの違いを観察し

たとか。来年もぜひ、観察日記をつけてくださいね。

さて、カーテンから外れますが、蔓の特性を利用して「風車」などの造形物を作られた方も写真を寄せてくださいました。

お気に入りのカーテンなのですが、敷地の関係で写真がうまく取れず、「是非、見に来てください」と誘ってくださった皆さん、ありがとうございます。今度ふなわりくん



と一緒に皆さんのカーテンを拝見させてい

ただきたいと考えています。よろしくお願ひします。



声をかけてくださいね！

11. 連作障害対策

今年度、緑のカーテン観察記録を募集した際に、

- ①ゴーヤを使ったレシピ
- ②ベランダでのネットの固定の仕方
- ③連作障害対策



についてお尋ねしました。②については「6. 緑のカーテンを作る上での工夫は？」で述べたとおりです。①のレシピは後程紹介するとして、連作障害対策の意見を紹介します。

そもそも「連作障害」とは、同じ場所に同じ野菜（あるいは同じ科の野菜）を栽培することで、その野菜を冒す病原菌が多くなったり、土壌の中の養分が不足したりして生育が悪くなることです。



寄せられた対策は

- ★土を入れ替える、2か月ほど休ませる、エンドウ等を育て混ぜ込む。
- ★アルカリに近づけると連作障害は避けられる。
- ★何度も掘り返し太陽の陽と酸素に当てる。苦土石灰くどせっかいを入れる。
- ★9月～10月頃苦土石灰くどせっかいを入れて中和。3月～4月は元肥を多めに入れる。（自己流です）

などがあり、多くの方が「苦土石灰くどせっかい」をあげていました。

「苦土石灰くどせっかい」とは「アルカリ性で、炭酸カルシウムと炭酸マグネシウムが主成分」だそうです。



「去年に比べて実成りが小さい」

と思われた方は、参考にしてください。



12. ゴーヤを使ったレシピ



一番多かったのはゴーヤの佃煮です。これは家庭ごとのレシピがあり、「一つだけ紹介」はできませんでした。詳細はホームページで紹介します。

ここでは材料の記載があったものと、作り方の記載のあったものをいくつか紹介します。



※ゴーヤともずくの酢の物※

材料

ゴーヤ 1/2 本 もずく 2 パック 長ネギ 5cm
A(酢大さじ 2 蜂蜜 小さじ 1 塩少々)

作り方

- ①ゴーヤはいちょう切り、長ネギは太めに干切りし、さっとゆでて冷ます。
- ②ボールに A をあわせ、もずくで和える。

※ゴーヤと厚揚げ、玉ねぎのポン酢炒め※

材料

ゴーヤ 1 本 玉ねぎ 1/2 個
厚揚げ 1 枚 桜えび 大さじ 3
塩少々 ごま油大さじ 1
A(酒大さじ 1 おろしショウガ大さじ 1 ポン酢醤油大さじ 2)

作り方

- ①ゴーヤは薄い半月切り。塩を振ってもむ。
- ②玉ねぎはくし切り、厚揚げは一口大。
- ③フライパンにごま油を熱し玉ねぎ、桜えびを炒めてゴーヤと油揚げを炒める。
- ④全体に油が回ったら A を加え、汁けがなくなるまで炒める。

※ゴーヤの肉詰め※

作り方

- ①ゴーヤは 2.5cm の輪切りをして茹でる。
- ②ゴーヤの中にひき肉、玉ねぎのみじん切り、卵を混ぜたものを詰める。
- ③めんつゆで煮て、最後に片栗粉で汁にとろみをつける。



※ゴーヤの漬物※

作り方

- ①ゴーヤはスライスして塩もみ。苦味が気になる人は、レンジで1分温め。
- ②ししとうは輪切り。
- ③ジップロックにめんつゆ、お酢、砂糖、ゴマ、ごま油を入れゴーヤとししとうを入れる。
- ④翌日には食べられる。

※ゴーヤケーキ (パウンド型 1 本分) ※

材料

ゴーヤ 100g バター(常温) 100g
上白糖 100g 卵 100g 小麦粉 120g
ベーキングパウダー 小さじ 1

作り方

- ①小麦粉とベーキングパウダーを合わせてふるっておく。
- ②ゴーヤはすりおろすか、フードプロセッサで粉碎。
- ③バターと砂糖を練り合わせ、クリーム状になったら溶いた卵を少しずつ混ぜる。
- ④②を加え、①をさっくり混ぜ 175℃から 180℃のオーブンで 40 分程度焼く。

薄切りにして塩もみすれば

- ・ツナマヨ和え
- ・ツナマヨコーン和え
- ・塩昆布和え
- ・ポン酢和え
- ・みそ和え(ニンニク味噌等風味のある物)
- ・かつお節和え
- ・ちくわのカレーマヨ和え、等に